

## 営農指導員の ワンポイントアドバイス 番外編

このコーナーは、営農指導員から農業のちよつとしたこつをお知らせしていますが、今回は作った野菜などを出荷できる「特産品館」の紹介をします。

「特産品館」へ  
出荷してみませんか？

特産品館とは

「特産品館」は農産品などの直売所で、総領町の「道の駅リストア・ステーション」にあります。「特産品館」では、総領町で採れた野菜や米のほか、生芋こんにゃくや乾燥しいたけ、はぶ草茶などの加工品、地元の人々が作った工芸品、銘菓などを販売しています。



毎年2月中旬から3月上旬には、施設付近で「節分草」の自生地公開が行われ、観光の拠点としても大変にぎわいます。

営業時間 9時～17時  
定休日 毎週火曜日・年末年始

特産品館に出荷するには

特別要件はありません。まずは、お気軽にお問い合わせください。

▼年会費 無料  
▼委託販売手数料 売上金の20パーセント

問い合わせ

特産品館  
0824・88・3050

総領支所地域振興室  
0824・88・3065



## 庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新たな魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



比和自然科学博物館で  
インストラクターをしている  
原田 樹雄さん

西城保育所の所長をしながら、比和自然科学博物館のインストラクターとして、来館者へ解説や公開講座の講師を務め、庄原の自然の魅力を伝えている原田さんにお話を伺いました。

### 比和自然科学博物館

小学校の教員をしていたころ、地域の自然を教材化することについて、研究していました。その中で、博物館を利用し研究を行っていたところ「インストラクターになってくれないか」と依頼があり、受けたのが始まりです。

比和自然科学博物館の魅力の一つに、「市民の市民による市民のための博物館」だということがあります。専任の学芸員や職員がいない中で、研究を行い、充実した標本を作成したり、企画展を行ったりしています。まさに、市民が作っている博物館です。

### やりがいとつながり

来館者への案内では、解説があるとしても分かりやすいと好評で、公開講座や観察会には、多くの参加があるのでも、やりがいを感じています。

研究をする上で、他の研究者と共同で行うことや、住民から情報をいただくこともあり、つながりがすごく大切だと感じています。

これらを次の世代につなげていくことが現在の課題です。研究活動をしている人や興味がある人は、ぜひ比和自然科学博物館へお越しください。



SNSの投稿募集中  
「#庄原が好き」  
で投稿！  
▲投稿を  
チェック



問い合わせ  
自治定住課定住推進係  
0824・73・1257